

参加登録のお願い

第17回 大阪歯科大学 創立100周年記念

全国同窓会会員大会 2011 11.26^土

伝統と創造 — 誇りある発展のために —

大阪国際会議場
リーガロイヤルホテル
(大阪 中之島)



日本センチュリー交響楽団



〈総合司会〉

辰巳 琢郎 氏

佐々木 恭子 氏
(フジテレビアナウンサー)

AM 9:00 リーガロイヤルホテル 1階 ロビー
受付開始

AM 10:00 大阪国際会議場 5階 メインホール
●オープニングセレモニー
舞楽・雅楽(天王寺楽所 雅亮会)

AM 10:30 大阪国際会議場 5階 メインホール
式典

AM 11:30 大阪国際会議場 5階 メインホール
●コンサート
西本 智実(指揮者) / 塩田 美奈子(ソプラノ)
日本センチュリー交響楽団(演奏)

PM 1:00 リーガロイヤルホテル 3階 光琳の間
祝宴(懇親会)
●ジャズライブ
NOUVELLE VOIX(ヌーヴェル・ボア)
With 宗清 洋 シックステット

写真展

11.26(土) 9:00~16:00
リーガロイヤルホテル 2階 桐の間

学術講演会

10.8(土) 13:00~19:00
大阪国際会議場 12階 特別会議場

ゴルフ大会

10.20(木)
伏尾ゴルフ倶楽部

参加登録

- 参加登録 参加登録受付中(なるべく早く参加登録をお願いします)
- 参加費 会員 ¥15,000 家族・従業員 ¥7,000
郵便振替用紙をご利用ください。(手数料無料)(払込票兼受領証を領収書にかえます)
- 問い合わせ先 大阪歯科大学同窓会 TEL: 06-6910-1061 FAX: 06-6943-1389
E-mail: dousou@cc.osaka-dent.ac.jp (メールでの参加登録は受け付けておりません)
- 支部会、クラス会で参加者増強についてご協力ください。
- 各クラスから多数が参加されますようクラス会の同時開催をお願いします。
- 大会案内は同窓会ホームページからもご覧いただけます。http://osakadent-dousou.jp/

大阪歯科大学同窓会

辰巳 琢郎 氏

俳優

大阪教育大学附属高校天王寺校舎2年生の時、つかこうへい氏の舞台に感銘を受け芝居を始める。京都大学文学部在学中は、関西では人気実力ともにNo.1の『劇団そとばこまち』を主宰し、役者としてだけでなく、プロデューサー、演出家として80年代学生演劇ブームの立役者となる。84年卒業と同時にNHK朝の連続テレビ小説『ロマンス』にて全国区デビュー。以来、知性・品格・遊び心と三拍子揃った俳優として、幅広く活躍している。主な出演番組は「浅見光彦シリーズ」(TBS系)の他、NHK大河ドラマ「信長-king of jipangu-」「八代将軍吉宗」「元禄繚乱」「利家とまつ」「篤姫」など。

また、クラシックのアーティスト達との交流も多く、コンサートの司会や演出も手がける。日本フィルの定期演奏会で演じたベルリオーズ作曲の『レリオ』(サントリーホール)は、「250人

の生演奏をバックの画期的なひとり芝居」と最高の評価を得た。また、六本木男声合唱団の一員として毎年サントリーホールで唄い、ウィーンの楽友協会やモナコのオペラハウスの舞台にも立つ。

「くいしん坊!万才」のレポーターを3年間務めるなど、食通・ワイン通としても知られ、(社)日本ソムリエ協会名誉ソムリエ、シャンパーニュ騎士団オフィシエの称号他、多くの騎士号をもつ。日本ワインを愛する会副会長。長野県原産地呼称管理制度ワイン官能審査委員。自ら企画し、ホスト役も務める『辰巳琢郎のワイン番組』(BSフジ)は6年続く長寿番組となっている。他、『辰巳琢郎の家物語〜リモデル☆きりり〜』(BS朝日)も好評放映中。著書には、『道草のすすめ』、『辰巳ワイナリー』などがある。

地方の活性化こそが日本復活の鍵だと考え、京都市観光大使、会津親善大使、小笠原諸島返還40周年大使、高知県観光特使、あったかふくしま観光交流大使等を歴任。今年6月には観光庁アドバイザーに就任した。

佐々木 恭子 氏

フジテレビアナウンサー

1972年、兵庫県西宮市に生まれる。神戸大学附属住吉小学校・中学高へと進み、9年間通った御影の石畳の美しい町並み、六甲から見下ろす阪神の夜景は、今でも原風景として残る。水泳やブラスバンドに明け暮れる生活を送る。高校は兵庫県立鳴尾高校へ。本人いわく「ぱっとしない3年」の後、父親の転勤で東京へ移る。92年、一浪の末、東京大学文科Ⅲ類に入学。「一生仕事したい、しかも家庭と両立できる専門性のある仕事をしたい」漠然と描いていたものの、なかなか将来が定まらぬまま、教養学部フランス科に進学。「3度の飯より、洋服買うより本がほしい」、熱い情熱を抱いた学者志望の、勉強好きな仲間に恵まれるものの、かえって自分自身が全く学究肌ではないことに気づいた瞬間から、将来探しに奔走する。幼少より「言葉」が好きだったこと、ちょうど大学3年生で阪神淡路大震災が起こり、住んでいた実家が全壊になったことから、「ニュースの最前線で起きていることを自分の言葉で伝えたい」とジャーナリズムの世界に向けて一念発起する。すぐにアナウンサーの就職試験が始まり、フジテレビ

に入社が決まる。96年入社後は、『スーパータイム』リポーター、『報道2001』サブ司会、『スーパーニュース』生活コーナーの中継リポーターを経て、99年より10年間、『とくダネ!』を務める。地震災害現場などの取材を担当し、その後2005年より4年間、ユニセフとの共同事業『チャリティキャンペーン』で、スマトラ沖津波や、貧困とHIVの連鎖をテーマにして、アフリカ・マラウィ共和国、パプアニューギニア独立国、南米のガイアナ共和国を取材する。主に子どもたちの暮らしに密着する取材、心に寄り添う取材を目指して取り組み、小さな命が「貧困」で奪われていく現実を何度も目の当たりにすることになる。2007年には、パプアニューギニアで、HIVに母子感染したがために差別と孤独の中で生きる少年のドキュメンタリーを取材・放送し、FNSアナウンス大賞を受賞した。

2010年、出産を機に『とくダネ!』を卒業、1男とともに育児休暇を満喫した後、復職。『知りたがり!』の中で、生活情報を発信するコーナー『主婦達への道』を担当している。育児と仕事のバランスを探りつつ、なかなか自分ひとりの時間がないのが悩みだが、合間を縫って、映画や観劇に行くのが趣味。得意なのは、段取りいい生活と、手間暇かけない創作料理。



雅亮会

舞楽・雅楽

平安時代における日本雅楽の成立以来、その伝承は主に宮廷(京都)、南都(奈良)、四天王寺(大阪)の三箇所にて設けられた雅楽団体によって行われてきました。これらの演奏グループのことをそれぞれ楽所(かく所)といいます。

明治維新の時に楽人の多くが宮中に召され、伝統が途絶えかけました。明治17年、その危機に有志が集まり、天王寺舞楽の伝承団体である「雅亮会」が結成されました。以来、民間雅楽演奏団体として今日まで天王寺舞楽の伝承・研鑽を続けてきました。雅亮会が伝承する4月22日の四天王寺の聖霊会舞楽法要は国の重要無形民俗文化財の指定を受けています。広大な石舞台のうえに繰り広げられる舞楽の特徴はおおらかでダイナミックな舞姿にあります。

大阪に残る最古の古典芸能として雅楽公演会、雅楽ゼミナールの自主公演をはじめ、国内各地、海外の依頼公演を行い、大阪府芸術祭賞、大阪府民劇場賞、大阪文化賞、大阪府知事表彰など数多くの受賞歴があります。



日本センチュリー交響楽団

Japan Century Symphony Orchestra

～あなたの夢、音にのせて～

日本センチュリー交響楽団(旧・大阪センチュリー交響楽団)は、1989年に活動を開始した。初代常任指揮者はウリエル・セガル(現名誉指揮者)が、1997年4月からは高関健が常任指揮者を務めた。2003年4月から首席指揮者に小泉和裕を迎えるとともに定期演奏会は2005年4月に100回を数えた。2008年4月からは小泉和裕を音楽監督に、沼尻竜典を首席客演指揮者に迎え、創立20周年となる2009年度には両指揮者による記念公演を行った。2011年4月、名称を日本センチュリー交響楽団に変更し新たなスタートを切った。

創立以来、アンサンブルの緻密さ、古典から現代作品に至るまで柔軟かつ高い演奏能力に評価を得てきた。大阪での定期演奏会をはじめ、近年ではさまざまな地域でも特別演奏会を行っている。その他にも「タッチ・ジ・オーケストラ(青少年のためのオーケストラ体感コンサート)」、特別支援学校コンサート、病院での室内楽コンサートなどセンチュリーならではの多彩な活動、また、センチュリー・ユースオーケストラの運営、大学からのインターンシップ生の受入れや中学生の職業体験授業など教育プログラムにも力を入れている。

「優れた演奏により地域の力を発信する」「オーケストラによる感動と癒しを提供する」「優れた才能の発掘を次世代の育成に寄与する」「国際相互理解や平和に積極的に貢献する」の4つの理念をもとに、演奏を通して多くの人びとの心に明るい夢が広がることを願い、新しい時代のオーケストラとして発展を目指している。



撮影:宅間國博

西本 智実 氏

指揮者

現在、ロシア国立交響楽団首席客演指揮者。大阪音楽大学作曲学科作曲専攻卒業後、ロシア国立サンクトペテルブルク音楽院オペラ・シンフォニー指揮科に留学。文化庁芸術インターンシップ奨学金生、「出光音楽賞」など受賞多数。チャイコフスキー記念財団・ロシア交響楽団の芸術監督兼任首席指揮者(2004~2007)、ムソルグスキー=ミハイロフスキー記念サンクトペテルブルク国立アカデミックオペラバレエ劇場(旧レニングラード国立歌劇場)の首席客演指揮者(2004~2006)などを歴任。その他にもモスクワ市立ロシアフィルなどへも客演するなどその地で外国人として異例のキャリアを積んでいった。

「スプリット音楽祭」「ドゥブロヴニク音楽祭」「プラハ プロムズ音楽祭」「ヴィリニユス音楽祭」などの音楽祭にも招聘されている。オーストリアのリッツ、ブルックナーハウスにおいてブルックナー管弦楽団定期演奏会での成功はヨーロッパでの活躍の第一歩となり、モナコ

においてのモンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団との公演でも絶賛される。ブダペストフィルのシーズン最初の定期公演や、ルーマニア国立ジョルジュエネスコフィル、リトアニア室内管弦楽団、リトアニア国立交響楽団、英国ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、ラトビア国立交響楽団など次々と成功し活動範囲を広げている。2010年にはカーネギーホールにてアメリカンシンフォニーオーケストラを指揮し大成功をおさめ、アメリカ進出を果たした。また、2011年にはオリンパスホール八王子のエグゼクティブプロデューサーに就任。

オペラ指揮者としても評価が高く、ハンガリー国立歌劇場、プラハ国立歌劇場との共演でも成功をおさめている。国内においても主要オーケストラに度々客演している。また、2007年よりダボス会議を主催する世界経済フォーラムのヤング・グローバルリーダーを務めており、その動向は世界から注目を集めている。



塩田 美奈子 氏

ソプラノ

国立音楽大学大学院オペラ科首席終了。オペラ研修所第6期修了。第19回イタリア声楽コンクール第1位シエナ大賞受賞。二期会公演「椿姫」のヴィオレッタ役でオペラデビュー。以後充実した歌唱力と情熱的な演技で数多くの舞台公演に出演する。1991年度アリオン賞、ジロー・オペラ賞新人賞、五島記念文化賞オペラ新人賞の各賞を受賞。オペラアリア集「プリマドンナ」でCDデビュー。97年には「プラハの春」音楽祭に招聘され、地元紙に〈クリスタル・ヴォイス〉と称される。2002年にスペイン舞踏家アントニオ・アロンソのスペイン古典舞踊を取り入れた斬新な演出で、ビゼー/シチュエドリン「カルメン」を初演。また2004年にはスペインのムジカ・コンポステラにおいてスペイン音楽のディプロマと第1位プレミオを受賞、日本におけるスペイン歌曲やサルスエラの研究発表に努める。2007年には「塩田美奈子リサイタル〜スペイン歌曲を歌う〜」を開催。スペイン音楽のスペシャリストとしての地位を確立した。2008年、新国

立劇場オペラ「ボエーム」ムゼッタ役、藤沢市民オペラと兵庫県立芸術文化センター・佐渡裕プロデュースの喜歌劇「メリー・ウイドウ」でハンナ役を演じた。2005年の初演に続き2009年5月、神奈川県民ホール開館35周年記念、横浜開港150周年記念事業のオペラ「愛の白夜」改定決定版にアギリア役で出演。2010年には三枝成彰のオペラ「忠臣蔵」外伝に出演。2010年には藤沢市民オペラ「パリアッチ」に、2011年7月には兵庫県立芸術文化センター・佐渡裕プロデュース「こもり」に出演。CDは「天然の美」「津軽のふるさと〜ある古い歌の伝説〜」「川の流れるように〜美空ひばりをうたう〜」他を発売する。NHKテレビ歌謡コンサート、BS「日本の歌」、「スタジオ・パーク」等にも出演。抜群の歌唱力と明るいパーソナリティーで活躍の場を広げてゆく注目の“オペラ女優”である。二期会会員、二期会スペイン音楽研究会代表、国立音楽大学非常勤講師。